

TOPIC

IAEA Scientific Forum 「Rays of Hope - Cancer Care for All」 本学教員が招待講演

2022年度IAEA総会のサイドイベントとして開催されたIAEA Scientific Forum 「Rays of Hope - Cancer Care for All (全ての人にがん治療を)」で、本学医学部健康リスクコミュニケーション学講座田巻倫明主任教授が、招待され講演いたしました。

全ての人にがん治療を

今年のIAEA Scientific Forumのテーマは、IAEAが現在推進している、全世界のがん患者に放射線医療を提供するための「Rays of Hope - Cancer Care for All (全ての人にがん治療を)」でした。現在、がん死亡の70%は低中所得国で認められており医療の格差は広がるばかりです。IAEAは2022年2月にこの「Rays of Hope」を立ち上げ、特に放射線治療施設のない20の加盟国を中心にがんの放射線医療を支援していく方針です。

本Forumでは、田巻倫明主任教授は自身が貢献してきたアジア地域での放射線治療教育プロジェクトを紹介、その活動のイノベーションについて発表し、世界中のがん医療専



IAEA総会本会議での報告に臨む田巻倫明主任教授

門家・国際機関や民間部門のリーダーらと低中所得国におけるがん医療の推進について議論しました。

Forum Rapporteur (代表報告者) としてIAEA総会本会議にて報告

また、Forum終了後、田巻倫明主任教授はForumの代表報告者(Rapporteur)として、IAEA総会本会議にてForumの成果

を議長、加盟国代表及びIAEA事務局に報告し、全世界のがん克服を目標とした、国際機関や民間部門も含めた幅広い共同体による、慣例に囚われない迅速な行動の必要性について言及しました。

講演は
こちらから
ご覧いただけます



令和4年9月27日 プレス発表

福島ファイヤーボンズとの連携協力に関する協定締結

本学と「福島ファイヤーボンズ」を運営する福島スポーツエンタテインメント株式会社は令和4年9月29日(木)に医療やスポーツに関する連携協定を締結しました。

協定締結式では、同社代表取締役社長の西田創様より「Bリーグ開始当初から福島医大には支援をいただいている。福島医大や福島県全体の発展に貢献できるよう頑張りたい」と

の挨拶をいただきました。

竹之下誠一理事長兼学長からは「チームが大活躍していただけるよう、大学として取り得る応援をさせていただく」と述べました。

今後、医療・教育・研究・スポーツなど、お互いの特性を生かしながら緊密に協力・連携することで福島県の活性化とお互いの発展を目指してまいります。



左から、竹之下誠一理事長兼学長と西田創代表取締役社長

詳細は
こちらから





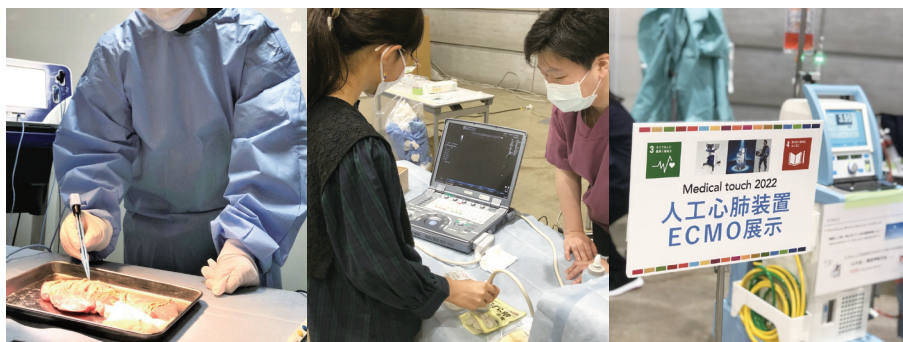
ようこそ!未来の医療従事者たちへ~Medical touch2022

令和4年9月24日と25日の2日間、ビッグパレットふくしまで開催された「ふくしまSDGs博(福島民報社主催)」において、ふくしま医療機器開発支援センター、神田産業株式会社、NPO法人「POMk Project」と共に、最先端医療の体験ゾーン「メディカル・タッチ Medical touch2022」を展開しました。

SDGsに掲げる「すべての人に健康と福祉を」の実現を見据え、子どもたちに医療や介護への関心を高めてもらうのが目的です。

約500名のみなさんが電気メス手術体験

当日、会場には神田産業(株)が開発した段ボール製パネル組立型ER(救急救命室)を設置し、可能な限り実際の医療現場を再現しました。無影灯の下で、ガウンや帽子、手袋を装着しての電気メス手術体験では、「先生お待



たせました」とお子さんたちを「先生」と呼び、医師になりきって体験していただきました。

電気メスを手にした参加者からは、これまで経験したことのない感覚に、「スッと切れるんだよ!」と思わず感動の声があがる場面もありました。他にも、超音波検査装置操作体験とクイズ、人工心肺装置ECMO(エクモ)の展示など、2日間常に行列が絶えない

ほど来場者の関心を集めました。

最後になりましたが、医療機器の手配・準備設営から来場者への体験補助・説明まで、すべて対応いただいた臨床工学センター出羽仁技師長をはじめとする4名の技師の皆様や学生さん、「POMk Project」の皆様、神田産業(株)の皆様に、この場をお借りして改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。



アジア初開催! 第9回 mismatch 陰性電位カンファランス

精神医学などに関する国際学会「第9回 mismatch 陰性電位カンファランス」が、令和4年9月21日~23日、本学医学部神経精神医学講座の主催で、アジアで初めて開催されました。国内外の精神医学の関係者が最新の神経科学や臨床応用の可能性といった知見の

共有を目的とするものです。

国内のほかフィンランド、スペイン、オーストラリアなど海外の研究者や専門家がさまざまな角度から導いた研究事例を発表し参加者と意見を交わしました。

mismatch 陰性電位とは外部からの物理的な刺

矢部博興
主任教授による
開会挨拶



激に対応する脳反応の一つです。統合失調症の患者で減衰することが報告されており、同症状の発症予測に関する指標として期待されています。



第54回日本医学教育学会大会本学 若手研究者賞受賞

令和4年8月6日(土)、本学医療人育成・支援センター所属のMAHAM STANYON助手が第54回日本医学教育学会大会において「A LINE-based medical escape room to facilitate team skills in English during COVID-19」を発表し、若手研究者賞(Young Investigator Award)を受賞しました。

この研究で、SNSプラットフォームを利用し

て低コストで没入型の脱出ゲームを提供し、心理的な脅威がなくリスクの低い環境で学生が医学英語とコミュニケーションスキルを用いて魅力的で包括的なチームベースの学習ができる先例を作りました。

受賞にあたり、MAHAM STANYON助手は「このたびは、大変光栄に存じます。受賞は、革新的で質の高い英語のカリキュラムを福島



2年連続受賞のMAHAMSTANYON助手

詳細は
こちらから



医大で実現させようとしたチーム全員の努力の賜物であり、皆様のご支援に心より感謝申し上げます」とコメントしました。



第24回全国院内学級絵画展覧会 パソコン部門銀賞入賞

令和4年9月24日(土)、福島県立須賀川支援学校医大校生徒の西香奏さんが描いた作品が、第24回全国院内学級絵画展覧会パソコン部門において銀賞に輝きました。

受賞作品は、「野球をしていた時のグラウンド

越しに見えていた風景をイメージして描いた」と西さんの思い出の風景が描かれています。

須賀川支援学校医大校で図工・美術を担当する佐藤友美教諭は、「自分のことのように嬉しい。うまく描くテクニックを教えるのではなく、描

西香奏さん



いたり作ったりする過程をとことん楽しめるように心がけている」と話しました。

福島県立医科大学 3年ぶり開催 第9回 光翔祭

令和4年

10月8日(土)
11:20・16:00
配信時間

10月9日(日)
11:20・19:00
配信時間

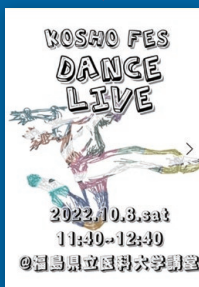
場所 福島県立医科大学構内 主催 第9回 光翔祭実行委員会
※外部の皆様はオンライン配信のみ

ライブ配信は特設サイトから
アクセスください。

第9回 光翔祭開催 特設サイト



注目のプログラム!!



ZACCダンスサークル



特別講演



ジャズ研究会



阿修羅アカペラサークル



ライブ局

TIME SCHEDULE

タイムスケジュール

10月8日(土)

AM

11:20・11:30 オープニング

A 11:40・12:40 ZACC
ダンス
サークル

PM

B 13:00・14:00 特別講演

14:10・15:50 部門局
学生の研究発表
資料は特設ページより

10月9日(日)

AM

C 11:20・11:50 ジャズ
研究会

PM

12:00・14:00 軽音楽部

D 14:30・16:00 阿修羅
アカペラ
サークル

E 17:00 ~ ライブ局
お笑い芸人さんにLIVEを
行っていただきます